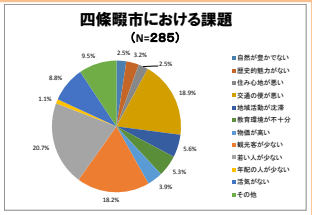
横見ゼミナール
～観光を通じた地域活性化～

活動目的

横見ゼミナールは、大阪府四條畷市、近鉄布施駅、亀山サンシャインパークと連携して、観光を通じた地域活性化を行っている。その目的は、「着地型観光」を通じた地域づくりの手法と意義を習得することであり、フィールドにおける課題の発見 → 課題の解決方法の検討 → 解決方法の実施 → 評価・改善 というサイクルで学習を進めている。

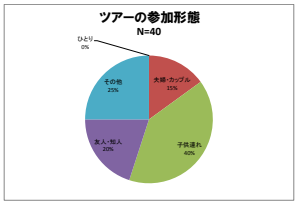
四條畷ユニット



四條畷市の観光を通じた活性化を目的として、昨年度にアンケート調査を実施した。その結果から「大阪近郊に位置しながら自然が豊かであることが活かされていない」、「四條畷市ならではのモノや名産物が知られていない」ことが課題として明らかになった。そこで、自然をアピールすることで四條畷独自の魅力を伝えるという目標を設定し、四條畷産の食材を使用した「おむすび」を媒介として「おむすび」と「結び」の語呂合わせで、「人と人とのむすびつき」、つまり来訪者と四條畷市を結びつける『おむすびのまち四條畷』という企画を考えた。おむすびを販売するにあたり、当初から商店街全体で展開することは難しいと考え、まずは自分たちが販売を行い、ある程度の周知と浸透を図り、事業拡大していく形を取ることにした。その方法として、商店街にある食品スーパー「なんこうシャル」の空きスペースにて平成 30 年 2 月～3 月に週 1 度の頻度で学生が試験的な販売を実施することとした。販売するおむすびは、四條畷産のエコ米「田原米」、具材として、四條畷市の農園企業である「株式会社グリーンファーム」で収穫されたチンゲン菜、わさび菜、小松菜を使用した。関係者を交えた試食会を経て、4 種類のおむすびが完成した。

おむすび販売の売り上げが良ければ商店街の他の店舗等にも協力を依頼し、次年度からは商店街全体での販売拡大を計画している。その次の年度には、この企画の更なる周知や浸透を図るため、集客イベントの実施や、おむすびの関連グッズの企画や販売を計画している。『おむすびのまち四條畷』の最終目標は、「四條畷＝おむすびのまち」を定着させることで、四條畷市における自然の魅力を内外に発信することである。

近鉄ユニット



近鉄布施駅と共同して、ゼミとしては新たな試みである「ツアー」を企画した。学生がゼロから企画・立案した『大学生とのコラボ企画・青の交響曲(シンフォニー)で行く吉野ツアー』と題したツアーを 12 月 27 日に催行した。この企画の目的は、観光特急「青の交響曲(シンフォニー)」の魅力と、吉野山の観光面での魅力を発信・周知することである。「上質な大人旅」をコンセプトとする青の交響曲(シンフォニー)に対して、あえて今回はファミリー層をターゲットとして、冬休み期間を利用した「お子さま連れ」という新たな顧客層を開拓する試みにチャレンジした。

ツアーの行程は、大阪阿部野橋駅から吉野駅まで青の交響曲(シンフォニー)を往復乗車し、目的地の吉野では「吉野山ふるさとセンター」という廃校舎を活用した施設で、お正月にちなんだ「しめ縄リース」の工作体験を実施したり、吉野駅では、吉野町のマスコットキャラクターである「吉野ピンクル」と記念撮影を実施したりした。また、列車の中では、往路はクリスマスにちなんだイントロクイズと吹奏楽の演奏、復路はプロジャズピアニストの演奏を披露するなど、ファミリーで楽しめる企画を実施した。

ツアーとしては初めての企画であるにも関わらず、54 名ものお客様が参加してくださり「満員御礼」となった。そして、アンケート調査の回答者では、その 4 割が「子供連れ」であり（左図参照）、この結果から、新たな顧客層を開拓するという今回の試みに関しては成功したといえるであろう。

亀山ユニット

亀山サンシャインパークは、三重県にある東名阪自動車道の亀山パーキングエリア（PA）に隣接する県営都市公園である。このパークは亀山 PA に隣接しているにも関わらず、あまり認知度が高くないことが昨年度のアンケート調査から明らかとなった。そこで、より多くの人々にパークに立ち寄ってもらうため、PA では利用頻度が高いと考えられる「トイレ」に着目し、パークの施設やイベントに関する宣伝や告知のポスターを「マンガ形式」により学生が制作して、NEXCO 中日本の協力を得て、これを PA のトイレの洗面台に掲示した。

改善版のポスター

今年度は、そのポスターの評価・改善を行うため、ポスターの効果に関するアンケート調査を、平成 29 年 7 月 8 日と 11 日の 2 日間にかけて実施した。その結果、トイレの洗面台では、マンガ形式によるポスターはじっくり読んでいただけないことが明らかとなり、「一目で内容が理解できるシンプルなもの」とするべくポスターを改善した（上図参照）。改善版のポスターは今年の 2 月まで亀山 PA に掲示中である。この取り組みは、現在の 4 回生が 2 回生から 3 年間にわたり続けてきたが、卒業と同時にパークの指定管理者である「株式会社東産業」の指定管理期間が終了することから、本年度をもって亀山ユニットの活動は終了することとした。